【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公開番号】特開2006-271311(P2006-271311A)
【公開日】平成18年10月12日(2006.10.12)
【年通号数】公開・登録公報2006-040
【出願番号】特願2005-98398(P2005-98398)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｑ　1/68　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/66　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｑ　1/68　ＺＮＡＡ
Ｃ１２Ｑ　1/66
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年5月30日(2007.5.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
二本鎖核酸試料中の非相補鎖部位を分析する方法であって、
前記非相補鎖部位を一本鎖特異的エンドヌクレアーゼで切断して核酸断片を得る工程と、
得られた核酸断片を、前記二本鎖核酸試料のいずれか一方の鎖と一部又は全部が同一の塩基配列を含むプローブとハイブリダイゼーションさせる工程と、
前記プローブにハイブリダイズした前記核酸断片からの伸長反応を行う工程と、
前記伸長反応で生じるピロリン酸を光学的に検出する工程とを含む、核酸分析方法。
【請求項２】
前記二本鎖核酸試料が、標的核酸上の前記非相補鎖部位を含む配列をあらかじめ増幅して得られたものである、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記非相補鎖部位が前記二本鎖核酸試料中に存在する変異部位である、請求項１又は２に記載の核酸分析方法。
【請求項４】
前記変異部位がメチル化シトシンである、請求項３に記載の核酸分析方法。
【請求項５】
前記ハイブリダイゼーション工程が０．１℃／秒以下で温度降下させて行われるものである、請求項１～４のいずれか１項に記載の核酸分析方法。